

2015年10月13日(火)
バイドゥ株式会社

国慶節時期検索キーワード「日本」が第1位！ バイドゥ、中国百度検索より 日本に関する検索キーワードランキングを発表

～10月国慶節前からの「日本」に関する検索キーワード（PC、モバイル別）を調査！～

バイドゥ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 Charles Zhang、以下バイドゥ）は、中国の国慶節前から終了までの時期（2015年8月1日～10月7日）に中国の百度検索で検索されたキーワードの中から“日本”に関するキーワードを抽出し、検索数をランキング化して発表します。これにより、中国人が日本に関してどのような興味・関心があるか、その傾向を把握することができます。

※数値はすべて1位を1.00とした指数です。

【総括】

- ・キーワード「日本旅行」は昨年よりもPC、モバイル共に増加。(図①)
- ・国慶節前と最中の検索結果を調べると、世界各国と比べて **PC もモバイルも昨年同様「日本」が1位**。2位は韓国。(図②、③)
- ・日本の地域別では、**PCは「東京」が1位、モバイルでは「北海道」が1位**となった。昨年に比べ、モバイルにおける検索数が北海道は約6.4倍増加に。(図④、⑤)

【バイドゥ 国際事業室 室長 高橋大介コメント】

訪日中国人観光客対策のポイントは、「**訪日前のアプローチ**」「**モバイル化**」「**個人旅行者には東京、大阪、京都、北海道を軸とした地方分散施策**」。

●訪日前のアプローチ

図①を見ての通り、日本旅行への興味は国慶節の1ヶ月前から高まっています。日本に来てから何かアプローチをするのではなく、旅行の比較検討段階で、アプローチすることが効果的であると言えるでしょう。

●モバイル化

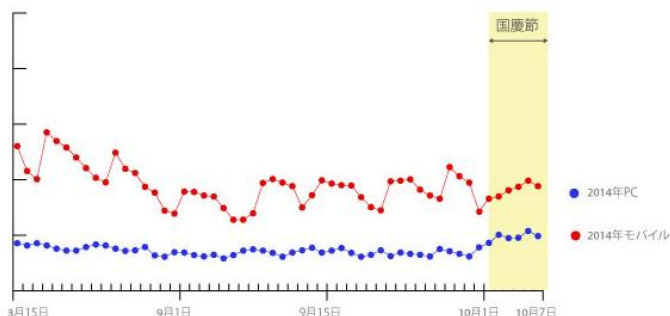
全ての図で顕著なのがモバイルからのアクセスの増加です。特に図③において、「北海道」のモバイルでの伸びは、前年比130%で、断トツ1位。PC検索量の6倍以上になっており、この1年で中国市場でのモバイル化が急激に進んでいることを理解することが重要でしょう。ただ、PCも減少しているわけではありませんので、インバウンド施策を検討する企業はPCとモバイル両方で考える必要があります。

●個人旅行者には東京、大阪、京都、北海道を軸とした地方分散施策を

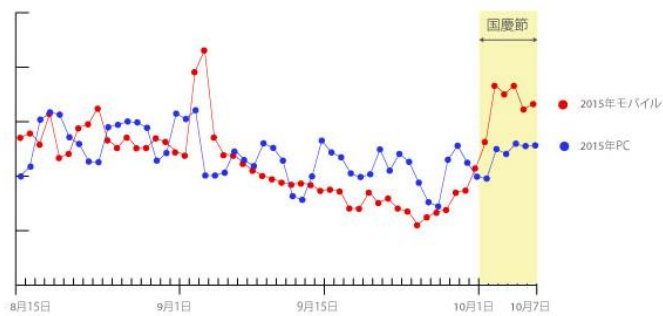
中国人の旅行も団体旅行から個人旅行へ移行しつつあり、各都道府県名の検索キーワードも増加しています。しかし、ランキングからわかる通り、大多数が、まず東京、大阪、京都、北海道を検索しており、実際訪問していますので、「東京から1日足を伸ばして～」などのアプローチが実際に個人旅行者を地方に向かわせる具体的な施策として効果的かもしれません。

(図①)

2014年 国慶節前～最中の「日本旅行」検索数推移



2015年 国慶節前～最中の「日本旅行」検索数推移



【検索キーワード「日本」は第1位】

(図②)

国慶節(旅行比較検討期間) 8月1日-10月7日		1位 日本の 検索量を1.0と した場合の値	対前年比	
中国人の 海外旅行 検索ランキン グ PC	1	日本	1.00	100.2%
	2	韓国	0.64	93.7%
	3	台湾	0.40	96.4%
	4	ドバイ	0.40	100.6%
	5	ロシア	0.39	101.1%
	6	モルジブ	0.37	73.1%
	7	アメリカ	0.33	81.7%
	8	タイ	0.28	101.8%

(図③)

国慶節(旅行比較検討期間) 8月1日-10月7日		1位 日本の 検索量を1.0と した場合の値	対前年比	2015年 PCとの 検索量比較	
中国人の 海外旅行 検索ランキン グ Mobile	1	日本	1.00	184.4%	276.2%
	2	韓国	0.54	197.7%	256.6%
	3	アメリカ	0.52	208.3%	448.0%
	4	ロシア	0.48	187.8%	362.6%
	5	ドバイ	0.46	144.7%	334.8%
	6	モルジブ	0.45	175.3%	342.1%
	7	パキスタン	0.36	382.5%	—
	8	シンガポール	0.00	191.4%	—

本年8月1日から10月7日までの検索によると、世界各国の中でも「日本」がPC、モバイル共に第1位となっています。PCにおける検索数は対前年比でそれほど変化はありませんが、モバイルにおいては対前年比184.4%となっており、モバイルでの検索が飛躍的に伸びているのが伺えます。

【検索キーワード日本国内、PCにおいて「東京」が1位、モバイルでは「北海道」が第1位】

(図④)

国慶節(旅行比較検討期間) 8月1日-10月7日		1位 東京の 検索量を1.0と した場合の値	対前年比	
日本国内 ランキン グ PC	1	東京	1.00	101.8%
	2	京都	0.23	129.2%
	3	北海道	0.13	98.1%
	4	沖縄	0.13	103.7%
	5	大阪	0.04	108.1%
	6	秋田	0.04	110.4%
	7	千葉	0.03	113.2%
	8	福岡	0.02	88.7%
	9	神奈川	0.01	96.3%
	10	埼玉	0.01	320.0%
	11	熊本	0.00	53.7%
	12	静岡	0.00	61.1%
	13	山梨	0.00	77.9%
	14	愛知	0.00	66.4%
	15	茨城	0.00	40.6%
	16	青森	0.00	47.5%
	17	愛媛	0.00	78.2%
	18	群馬	0.00	60.1%
	19	鳥取	0.00	55.8%
	20	兵庫	0.00	60.0%

(図⑤)

国慶節(旅行比較検討期間) 8月1日-10月7日		1位 北海道の 検索量を1.0と した場合の値	対前年比	2015年 PCとの 検索量比較	
日本国内 ランキン グ Mobile	1	北海道	1.00	130.2%	639.2%
	2	東京	0.31	271.8%	119.7%
	3	京都	0.29	232.7%	201.1%
	4	沖縄	0.27	297.0%	185.9%
	5	大阪	0.27	190.9%	23.4%
	6	秋田	0.12	172.2%	319.2%
	7	福岡	0.09	332.3%	172.2%
	8	千葉	0.05	169.8%	107.5%
	9	神奈川	0.04	571.3%	166.6%
	10	熊本	0.03	214.4%	454.7%
	11	静岡	0.02	349.6%	349.6%
	12	茨城	0.01	372.4%	372.4%
	13	山梨	0.01	170.9%	170.9%
	14	青森	0.01	186.1%	186.1%
	15	愛知	0.00	483.3%	132.3%
	16	群馬	0.00	102.7%	170.5%
	17	愛媛	0.00	168.6%	111.1%
	18	鳥取	0.00	107.5%	151.9%
	19	兵庫	0.00	144.7%	155.5%
	20	埼玉	0.00	130.7%	27.0%

PCにおける日本国内の検索キーワードは「東京」が1位となりました。2位の「京都」とは大きく差が開いていますが、今年は全体的に各地域のキーワードも増加しており、日本国内各地への旅行のニーズが増えてきている傾向にあります。

また、モバイルでの検索キーワードを見ると北海道が昨年より130.2%増となり、さらに今年のPCの検索量に比べて639.2%とモバイルでの検索が増加していることが伺えます。

■ バイドゥ株式会社について

世界の検索市場において第2位のシェアを有しており、米国 NASDAQ へ上場している Baidu, Inc（本社：中国北京市、代表者：Robin Li）の日本法人です。

2008年1月に日本市場向け検索サービス「Baidu.jp」をリリース。現在は、累計1,700万ダウンロードを誇る日本語入力キーボード「Simeji」（2011年12月よりAndroidアプリ、2014年9月にiOS版アプリ提供）など新サービスを次々に提供しています。

Baidu オフィシャルサイト：<http://www.baidu.jp/>

<本件に関する報道機関からのご質問やご取材のお申し込み先>
バイドゥ株式会社 マーケティング・広報部 岩間
E-MAIL: pr-jp@baidu.com

<中国 Baidu への広告出稿をご検討の方からの問い合わせ先>
E-MAIL: china_ad@baidu.com